

本太中だより

第3号

令和3年6月1日

さいたま市立本太中学校

048(886)4305

<http://motobuto-j.saitama-city.ed.jp>

E-mail motobuto-j@saitama-city.ed.jp

自彊の誇りと進取の気概 伝統の本太中学校

～「開校を記念する日」に寄せて～

5月25日は本太中学校の「開校を記念する日」です。

本校は、太平洋戦争の終戦間もない昭和23年4月1日浦和市立本太中学校として、設立が認可されました。開校式は、今のさいたま市立浦和高校の校舎の一部を使用し、挙行了たそうです。その後昭和30年、私立都北高校の校庭と校舎の寄付を受け、現在のこの地に移転した日、それが5月25日です。移転の話は、後日機会を改めます。

今日は、昭和28年に制定された本太中学校の校歌について紹介しましょう。校歌制定にあたり、歌詞は全校生徒と保護者から募集した後、投稿作品の中から一篇を選び、推敲後、完成したそうです。だから、本校の校歌の歌詞は、本太中学校選定です。作曲は、音楽家の芥川也寸志氏の御自宅へ参上し、お願いしたそうです。依頼を受けた芥川さんは、「校歌は、堅苦しいものでなく、遠足の時に、口ずさめるようなものにしたい」と温かく引き受けて下さったとか。芥川也寸志氏は、戦後を代表する、大変著名な音楽家で、也寸志氏のお父上は、あの作家の芥川龍之介です。

さて、2019年、二つの世界遺産が火災で大きな損害を受けました。沖縄県の首里城とフランスのノートルダム大聖堂です。貴重な文化遺産を、後生に残すためにどちらも再建計画が進んでいます。皆さん、再建というと、元の姿を復元すると考えませんか。実際、首里城はその方針です。しかし、ノートルダム大聖堂の再建にあたっては、「今の私たちの文化を残したい」という考えで、焼け落ちた屋根と塔の新デザインの募集が検討されました。後生に残す私たちの遺産は、受け継がれてきた歴史なのか、今の私たちが生み出す文化なのか、各々に主張があります。このように、実社会では、数学のように誰もが認める正解ではなく、筋道を立てた話し合いで、多くの人が納得できる解答を考えることが多いのです。世界遺産として、何を後世に残すことに意味があるのか、納得解を出すということです。

さて、本太中学校の生徒の皆さん。100年後の未来に残したい本校の遺産は何ですか。70年前の先輩たちは、校歌制定にあたり、歌詞を自分たちで創り、作曲は一流の音楽家に依頼しました。「自らのことは自らで」という自彊の誇りと、門戸を開き、進んだ技を教育に活かすという進取の気概。これらは今も、先輩たちから私たちへ脈々と受け継がれています。これも本太中学校の遺産ではないでしょうか。生徒の皆さんが残したい本太中遺産は何ですか。何を築き、何を守っていきますか。この機会に、改めて振り返ってみましょう。

(※現在、ノートルダム大聖堂は、元の形に復元する方向で話が進んでいます。なお、本校の歴史については、「創立五十周年記念誌」を参考にしました。)



私の本太中学校遺産 1
「創立70周年記念時計」

地域の方から寄贈を受けた大切な時計です。地域と共に歩む本校を象徴しています。これからも、地域と共にずっと…。

6・7月 行事予定

日	曜	6月行事予定	給食		
			1	2	3
1	火	朝礼 生徒委員会	○	○	○
2	水		○	○	○
3	木		○	○	○
4	金	前期教育実習終了	○	○	○
5	土	学校総合体育大会			
6	日	学校総合体育大会			
7	月	学校総合体育大会 学年内4h	×	×	×
8	火	学校総合体育大会 学年内4h	×	×	×
9	水	学校総合体育大会	○	○	○
10	木	学校総合体育大会	○	○	○
11	金	学校総合体育大会 県通信	○	○	○
12	土	学校総合体育大会 県通信			
13	日	県通信			
14	月		○	○	○
15	火	内科検診(2)	○	○	○
16	水	学校運営協議会(図書館:10:30~)	○	○	○
17	木	⑥スケアードストレイト チャレンジスクール	○	○	○
18	金	⑥生徒総会 チャレンジスクール	○	○	○
19	土	食育の日 チャレンジスクール			
20	日				
21	月	チャレンジスクール	○	○	○
22	火	チャレンジスクール	○	○	○
23	水	チャレンジスクール NO T・G	○	○	○
24	木	期末テスト(1)	○	○	○
25	金	期末テスト(2) 集団下校訓練	○	○	○
26	土				
27	日				
28	月		○	○	○
29	火	表彰朝礼	○	○	○
30	水	耳鼻科検診(13:30~)	○	○	○

日	曜	7月行事予定	給食		
			1	2	3
1	木	学校総合体育大会(陸上)	○	○	○
2	金	学校総合体育大会(陸上)	○	○	○
3	土	学校総合体育大会(陸上)			
4	日				
5	月	生徒委員会 学校総合体育大会(陸上)	○	○	○
6	火		○	○	○
7	水	⑥修学旅行説明会(3年)	○	○	○
8	木	⑤学校保健委員会⑥保護者会(1年) PTA(本部・役員)	○	○	○
9	金		○	○	○
10	土	県大会			
11	日				
12	月		○	○	○
13	火		○	○	○
14	水	⑤学校保健委員会⑥保護者会(3年)	○	○	○
15	木	⑤学校保健委員会⑥保護者会(2年・8組)	○	○	○
16	金	給食最終日 ⑤大掃除	○	○	○
17	土				
18	日				
19	月	4h	×	×	×
20	火	終業式	×	×	×
21	水	夏季休業日			
22	木	夏季休業日 海の日			
23	金	夏季休業日 スポーツの日			
24	土	夏季休業日			
25	日	夏季休業日 県学総(陸上)			
26	月	夏季休業日 県学総(陸上)三者面談(3年)			
27	火	夏季休業日 三者面談(3年)			
28	水	夏季休業日 三者面談(3年)			
29	木	夏季休業日 三者面談(3年)			
30	金	夏季休業日 三者面談(3年)			
31	土	夏季休業日			

学校教育目標 「未来へ、よりよく生きる」

目指す学校像 ○生徒一人ひとり・教職員の自己実現を図る学校

目指す生徒像 ○よりよく生きようとする生徒

◇授業日数 5月—18日 6月—23日 7月—14日

◇学校諸経費の引き落としについて 6月7日(月) 1年:26,530円 2年:26,030円 3年:25,530円